

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校中央医療健康大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	理学療法学科	夜・通信	3,480 時間	320 単位時間	
	トータルケア鍼灸学科	夜・通信	2,596 時間	240 単位時間	
	スポーツ柔整学科	夜・通信	2,730 時間	240 単位時間	
	柔整健康学科	夜・通信	2,565 時間	135 単位時間	
	歯科衛生学科	夜・通信	3,110 時間	240 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

資料の名称：「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表 入手の方法：学校法人鈴木学園 法人本部に連絡（電話：055-971-1833）
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校中央医療健康大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ：<https://suzuki.ac.jp/about/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	労務保険事務組合 理事	2020年9月 21日～2024 年9月20日	人事・総務・労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校中央医療健康大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鈴木学園シラバス作成ガイドライン」に記載すべき項目を規定している。 ・シラバスは学園共通の様式に統一している。 ・シラバスは各学科会議のカリキュラムに基づき担当教員が作成し、学科長が確認している。 ・シラバスは毎年3月末までに作成している。 ・ホームページにシラバスの入手方法と連絡先を公開している。 ・情報公開は6月30日までにやっている。 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>資料の名称：シラバス 入手の方法：学校法人鈴木学園 法人本部に連絡 (電話：055-971-1833)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて評価を行っている。 ・学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定している。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「G P A制度に関する規程」と学生向け説明「G P A制度について」を定め、ホームページに公開している。 ・G P A制度に関する規程に基づき、成績分布の把握を行っている。 	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ： https://suzuki.ac.jp/about/disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）は他のポリシーと一緒に3つのポリシーとして策定している。 ・ディプロマポリシーや学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、卒業を認定している。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ： https://suzuki.ac.jp/about/disclosure/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校中央医療健康大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	資料の名称：事業報告書 入手の方法：学校法人鈴木学園 法人本部に連絡（電話：055-971-1833）
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	理学療法学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,570 単位時間/単位	1,740 単位時間 /単位	540 単位時間 /単位	1,290 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	夜		単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		160人	0人	7人	24人	31人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業は講義、演習、実習の形態をとり、前期・後期・通年科目にて構成される。基礎から専門的な学習へ段階的に習得可能なカリキュラム編成で、より実践的な知識・技術の習得を目標としている。
成績評価の基準・方法
（概要）学則・細則・GPA制度に関する規程等により評価する。 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則・細則・GPA制度に関する規程等により評価する。 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。
学修支援等
（概要）補習、補講、模擬試験、再試験、三者面談、個別相談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41人 (100%)	0人 (0%)	40人 (97.5%)	1人 (2.5%)
(主な就職、業界等) 病院、診療所、介護保険施設など			
(就職指導内容) 求人票の見方、履歴書の書き方、面接の受け方、自己PRの仕方、模擬面接指導など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格：理学療法士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
163人	2人	1.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習支援、個別相談、三者面談、専門家によるカウンセリング、 高等教育の修学支援制度や奨学金の案内など		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校中央医療健康大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	資料の名称：事業報告書 入手の方法：学校法人鈴木学園 法人本部に連絡（電話：055-971-1833）
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	トータルケア 鍼灸学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,834 単位時間/単位	2,114 単位時間 /単位	単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	単位時間 /単位	540 単位時間 /単位
	夜		単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
78人		62人	0人	6人	12人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）鍼灸師に必要な基礎分野、専門基礎分野、専門分野等について、講義・実技・実習を通して3年間で理解する。
成績評価の基準・方法 （概要）授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて評価を行う。 学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定する。
卒業・進級の認定基準 （概要）学則・細則・GPA制度に関する規程等により評価する。 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。
学修支援等 （概要）補習、補講、模擬試験、再試験、三者面談、個別相談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	10人 (66.6%)	5人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 鍼灸院、鍼灸接骨院など			
(就職指導内容) 求人票の見方、履歴書の書き方、面接の受け方、自己PRの仕方、模擬面接指導など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格：はり師・きゆう師、日本トレーニング指導者協会認定資格 アロマコーディネーター、ボディートリートメントセラピスト、アキュレッチ 介護予防運動指導員			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	6人	10%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不信		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習支援、個別相談、三者面談、専門家によるカウンセリング、 高等教育の修学支援制度や奨学金の案内など		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校中央医療健康大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	資料の名称：事業報告書 入手の方法：学校法人鈴木学園 法人本部に連絡（電話：055-971-1833）
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	スポーツ柔整学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,970 単位時間/単位	1,680 単位時間 /単位	270 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	単位時間 /単位	840 単位時間 /単位
	夜		単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		85人	0人	6人	19人	25人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）基礎分野、専門基礎分野、専門分野、選択分野の講義・演習・実習・実技を通して3年間で修学していく
成績評価の基準・方法
（概要）授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて評価を行う。 学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則・細則・GPA制度に関する規程等により評価する。 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。
学修支援等
（概要）補習、補講、模擬試験、再試験、三者面談、個別相談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	1人 (3.7%)	24人 (88.9%)	2人 (7.4%)
(主な就職、業界等) 鍼灸・接骨院、整形外科、介護施設、など			
(就職指導内容) 求人票の見方、履歴書の書き方、面接の受け方、自己PRの仕方、模擬面接指導など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格：柔道整復師、日本トレーニング指導者協会認定資格、キネシオテーピング協会認定資格、日本リフレクソロジスト認定機構資格、JCCA 認定資格等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
83人	1人	1.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良など。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習支援、個別相談、三者面談、専門家によるカウンセリング、 高等教育の修学支援制度や奨学金の案内など		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校中央医療健康大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	資料の名称：事業報告書 入手の方法：学校法人鈴木学園 法人本部に連絡（電話：055-971-1833）
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	柔整健康学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2,760 単位時間/単位	1,875 単位時間 /単位	105 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	600 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
84人		59人	人	6人	11人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）基礎分野、専門基礎分野、専門分野、選択分野の講義・演習・実習・実技を通して3年間で修学していく
成績評価の基準・方法
（概要）授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて評価を行う。 学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則・最速・GPA制度に関する規定などにより評価する。 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。
学修支援等
（概要）補習、補講、模擬試験、再試験、三者面談、個別相談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	14人 (82.4%)	3人 (17.6%)
(主な就職、業界等) 鍼灸・接骨院、整形外科、介護施設、など			
(就職指導内容) 求人票の見方、履歴書の書き方、面接の受け方、自己PRの仕方、模擬面接指導など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格：柔道整復師、日本トレーニング指導者協会認定資格、NSCA 認定トレ検、JCCA 認定資格等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
67人	11人	16.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習支援、個別相談、三者面談、専門家によるカウンセリング、 高等教育の修学支援制度や奨学金の案内など		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校中央医療健康大学校
設置者名	学校法人鈴木学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	資料の名称：事業報告書 入手の方法：学校法人鈴木学園 法人本部に連絡（電話：055-971-1833）
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	歯科衛生学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,230 単位時間/単位	905 単位時間 /単位	870 単位時間 /単位	1,455 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105人		100人	人	5人	38人	43人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）歯科衛生士に必要な基礎医学、基礎歯科、医学における知識の修得と、実践的な技術を修得するために、演習・基礎実習・臨床実習を3年間で学んでいく。
成績評価の基準・方法
（概要）授業、実習、演習、小テスト、課題提出、試験やレポートなどの提出により、シラバスで一般目標や到達目標を定めて行う。 学則や細則等で規定した成績判定の基準により履修認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則・細則・GPA制度に関する規程等により評価する。 卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）や学生の修得単位数、出席率、成績評価を踏まえ、進級や卒業を認定する。
学修支援等
（概要）補習、補講、模擬試験、再試験、三者面談、個別相談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	0人 (0%)	32人 (97%)	1人 (3%)
(主な就職、業界等) 歯科医院			
(就職指導内容) 求人票の見方、履歴書の書き方、面接の受け方、自己PRの仕方、模擬面接指導など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国家資格：歯科衛生士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	2人	2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学習支援、個別相談、三者面談、専門家によるカウンセリング、 高等教育の修学支援制度や奨学金の案内など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	300,000 円	834,000 円	354,000 円	その他は施設設備費、実習費
トータルケア 鍼灸学科	300,000 円	844,000 円	306,000 円	その他は施設設備費、実習費
スポーツ柔整学科	300,000 円	918,000 円	306,000 円	その他は施設設備費、実習費
柔整健康学科	300,000 円	846,000 円	306,000 円	その他は施設設備費、実習費
歯科衛生学科	200,000 円	630,000 円	289,000 円	その他は施設設備費、実習費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://suzuki.ac.jp/about/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員会規定に役割・任期・運営方法などを定めている。 主な評価項目 : 教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生生活支援、 教育環境、学生の受け入れ募集、財務、法令等の遵守 評価委員会の構成 : 当学校の教職員以外の者で3名以上 (企業関係者、保護者、その他教育に関する有識者) 評価結果活用方法 : 校長が1ヶ月以内に科会を開催して評価結果の共有と改善策を 作成し、設置者に報告する		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
理学療法学科 3年生の保護者	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	保護者
専門学校社会医学技術学院 学科長補佐	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	他校教員
医療法人社団マイルストーン リハビリ統括	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業関係者
トータルケア鍼灸学科 2年生の保護者	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	保護者
中央調理製菓専門学校静岡校 教員	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	その他教育に関する 有識者
ラ・コルテ鍼灸院 院長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業関係者
スポーツ柔整学科 2年生の保護者	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	保護者
くぼでらボディメンテナンス(株) 代表取締役	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業関係者
(株)ハートメディカル	令和6年4月1日～	卒業生

マネージャー	令和7年3月31日	
歯科衛生学科2年保護者	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	保護者
今村歯科医院院長 今村陽一郎	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業関係者
中央歯科衛生士調理製菓専門学校教 員 根木規予子	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	他校教員
	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://suzuki.ac.jp/about/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://suzuki.ac.jp/about/disclosure/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H122310000429
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校中央医療健康大学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人鈴木学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		53人	55人	56人
内訳	第Ⅰ区分	29人	27人	
	第Ⅱ区分	15人	16人	
	第Ⅲ区分	—	12人	
	第Ⅳ区分	—	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				56人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	-	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	-	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	-	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。